

年中行事を考える

—神仏に祈りと感謝をささげる心—

期日：平成29年11月25日(土)・26日(日)

会場：飯田市美術博物館

主催：南信州民俗芸能継承推進協議会・柳田國男記念伊那民俗学研究所

共催：長野県・長野県教育委員会・南信州広域連合

後援：伊那谷研究団体連絡協議会

南信州とよばれる長野県南端の飯田下伊那地方は、民俗とくに民俗芸能の「宝庫」と称されるように、今も多様な民俗文化が伝承されています。しかし、そうした民俗文化も、生活様式や少子高齢化・人口減少をはじめとする社会情勢の変化により急激に変容し失われつつあります。そこで、当地域の民俗文化について、それを持続することの意義を問い直す機会として、「伊那民俗研究集会」を開催いたします。

初回となる今回は、かつて一年の歳時のなかで各家庭を中心にして当たり前に行われていた年中行事について考えます。現在もしっかりと受け継いでいる天龍村坂部と阿南町新野の事例を、克明に記録した2本の映像で振り返ります。あわせて、現在の年中行事の研究を周辺や全国的な視野も加えながら、その意味を問い直し、これを伝承する意義などについて、皆で考えます。

日々の暮らしの中で先祖を敬い、神仏に祈りと感謝を捧げ、家族があい和しての生活……今の私たちはそこから何を学び、今に活かすことができるのでしょうか。きっと日々の暮らしぶりを見直す機会になることでしょう。ぜひご参加ください。



飯田市下久堅・三石家の小正月飾り



阿南町新野・勝野家の便所の年取り



天龍村坂部のうち祭り

柳田國男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034 長野県飯田市追手町2丁目655-7 飯田市美術博物館内

電話0265-22-8118(飯田市美術博物館)

e-mail inaminken@gmail.com

URL <http://inaminkenhome.blogspot.jp/>

第1回伊那民俗研究集会「年中行事を考える」

1日目 11月25日(土)

10:00 ~ 12:10	映像上映(プレ企画)『天龍村坂部の年中行事』(120分)(解説含) 長野県下伊那郡天龍村坂部における年中行事の記録。閑家を中心とした家の行事を柱に、「冬祭り」(国指定重要無形民俗文化財)や「五度の祭り」、「ブサ祭り」、「掛け踊り」(国選択無形民俗文化財)などを織り込みながら、坂部の一年を追います。 (制作:天龍村霜月祭等資産化実行委員会 2015)
13:00	開会・挨拶・趣旨説明
13:10 ~ 13:50	講演 「年中行事研究の今」 福田アジオ (国立歴史民俗博物館名誉教授・柳田國男記念伊那民俗学研究所所長) 毎年繰り返される年中行事は人びとの生活にリズムをつけ、大きな楽しみを与えてきました。ところが近年急速に失われるとともに、その意味も忘れられつつあります。改めて年中行事の意味を考え、今後のあり方を模索します。
13:50 ~ 14:30	研究発表1 「南信州の盆行事の移り変わり」 北原いずみ (柳田國男記念伊那民俗学研究所会員) 年中行事は戦後、特に高度経済成長期や昭和36年の36災害を大きな境として簡略化の一途をたどっています。飯田とその周辺・遠山地域での盆行事の移り変わりを追いながら、先人の先祖に対する思いを探ってみます。
14:30 ~ 15:10	研究発表2 「年中行事の民俗連鎖—正月行事を中心に—」 櫻井弘人 (飯田市美術博物館学芸員) 一年の豊作や安泰を願う正月行事。そこで飾られる門松や供え物などは、その時だけでなく、一年間の他の行事や集落の祭りへと連鎖します。新野・坂部・下久堅の事例を中心にして、年中行事の奥深さを探ります。
15:20 ~ 16:00	研究発表3 「長野県の特化的行事—儀礼食を中心に—」 倉石あつ子 (元跡見学園女子大学教授・安曇野市豊科郷土博物館新市立博物館準備室) 長野県は南北に長く、北・東・中・南信地方と地域を区分して表現されます。広い長野県内で、種々行われる行事や儀礼の中での特長的な食べ物を取り上げ、風土や地域性とのかかわりを考えてみます。
16:00 ~ 16:40	研究発表4 「愛知県東栄町の正月行事—杉野家年中行事記録から—」 板橋春夫 (日本工業大学教授) 北設楽郡東栄町河内の杉野みつ子家は、毎年ていねいな正月行事を執行しています。みつ子さんが行事を遂行する際の苦労話を紹介しながら、花祭りでも知られる奥三河地域における正月飾り儀礼の特色について論じます。

2日目 11月26日(日)

8:30 ~ 9:30	柳田國男関連地見学会 <オプション> 飯田市街地の柳田國男ゆかりの地を巡り歩きます。(集合場所:飯田市美術博物館第1駐車場) 案内:宮下英美(柳田國男記念伊那民俗学研究所会員) 他
9:30	開場
9:40 ~ 12:30	映像上映 『阿南町新野の年中行事』(160分)(解説含) 長野県下伊那郡阿南町新野における一年間の年中行事の記録。便所の年取りで知られる勝野家を中心とした家の行事を柱に、「雪祭り」、「盆踊り」(ともに国指定重要無形民俗文化財)や新野の神楽、行人様の祭りなどを織り込みながら、新野の一年を追います。 (制作:南信州阿南町新野雪祭等資産化事業実行委員会 2017)
13:20 ~ 15:20	シンポジウム 「年中行事を考える」 パネラー 板橋春夫・福沢昭司 (長野県民俗の会会員)・ 櫻井弘人・北原いずみ コーディネーター 今井 啓 (伊那民俗学研究所会員) 年中行事とは何か。その地域的な広がりや変化を探りながら、それを継承することの意味を探ります。 『年中行事』とは何か 福沢昭司 (長野県民俗の会会員) トキはサラサラと流れ、そのままでは認識できません。認識できないトキに印をつけ、誰もが認識できるようにしたのが年中行事だといえるでしょう。距離を目に見える形にした一里塚のようなものです。
15:20 ~ 15:30	閉会・総括

参加方法

- 参加料** 500円(資料代等) * 1日参加でも2日参加でも同じ。
- 事前申込み** ご参加の申込みは不要です。ただし、1日目夜の交流会(17:30~会費5,000円)に参加を希望される方、2日目昼に「祭り弁当」(1,000円税込)を注文される方は11月18日(土)までにお申し込みください。
(申込み先:0265-22-8118 飯田美術博物館)
- その他** 当日は民俗関係の報告書やDVD等を販売します。

交通案内

JR飯田駅から徒歩20分、中央高速バス「飯田商工会館」から徒歩5分
中央自動車道飯田ICより車で15分

会場ご案内

